

平成 27 年度 第 7 回 市長と語ろう！タウンミーティング 議事録  
(U 活プロジェクト 県内の大学等に通う学生対象)

開催日時 平成 27 年 10 月 12 日 (木) 午前 11 時～午後 2 時 00 分

開催場所 あたご天狗の森スカイロッジ

参加者 12 人

《提案された意見》

- 1 笠間に住んでいて不便に感じる事
- 2 設置を検討してほしい事
- 3 スポーツ施設などについて
- 4 働く場所として笠間市は
- 5 教育について
- 6 自治体間交流について

《内容》

- 1 笠間に住んでいて不便に感じる事

【意見等】

市内で遊ぶところがないこと。現在は市外（内原など）に行っている。

電車の本数が少ないこと（交通の便が悪い）。

細い市道が多く、自転車や歩行者が飛び出して危ないことがある（笠間自動車学校付近）。

岩間地区は日用品の買い物ができる店舗が少ないこと。笠間・友部地区に偏っているように感じる。

【回答】

一定の売り上げが見込めない限り企業は進出しないので、行政で呼び込むのはなかなか難しいです。現在 JR 岩間駅東側への誘致を行っているので、これからも続けていきたい。

- 2 設置を検討してほしい事

【意見等】

街灯が少ないので増やしてほしい。友部～笠間地区に抜けるあたり（手越）。

駅前に無料の駐輪場があるといい。

【回答】

市民活動の拠点作りのため、岩間地区と友部地区にそれぞれに地域交流センターの建設を予定している。

友部地区は現在の駐輪場がある場所に設置する予定です。工事にあって駐輪場の利用を一時停止しますが、その期間中の自転車を停める場所は検討します。

ただし、新しい駐輪場も有料で使用してもらおう予定でいます。設置に一定のコストがかかる以上、無料は難しいと考えています。

**【意見等】**

友部駅は路線も多く便利だが、電車が来るまで時間をつぶせるような場所が駅の近辺にあるといい。

**【回答】**

コーヒーショップのような時間をつぶせるスペースは必要と思っています。民間企業を誘致できるよう今後も投げかけたいと思います。

**【意見等】**

イベントの際に運行するシャトルバスの停留所を市内全体に設置すれば、市内の人もイベントに参加しやすくなるのではないかと。

※現在、岩間地区にはシャトルバスの停留所はない。

**【回答】**

市内からの来場者が増えるよう検討したい。

### 3 スポーツ施設などについて

**【意見等】**

笠間地区（稲田）から「ゆかいふれあいセンター」までは距離があり不便なので、現在は水戸のジムに通っている。笠間・岩間地区にもスポーツ施設がほしい。

**【回答】**

ゆかいふれあいセンターは市の中心から離れている。近年は健康志向の高齢者なども増えていることから、もう1箇所くらいはあってもいいと思います。

**【意見等】**

合気道の少年団に所属していたが、参加しているのはほとんど岩間地区の子どもたちだった。各地区からの送迎などがあれば、合気道を習う人が増えて普及につながるのではないかと。

**【回答】**

合気道は現在 130 カ国で親しまれています。勝ち負けのない合気道は外国人にとっても魅力的のようです。茨城国体の公開競技に入っていることもあり、今後も普及に努めていきます。

**【意見等】**

ハイキングをする人のために、JR 岩間駅から愛宕山までのシャトルバスを運行してはどうか。

**【回答】**

愛宕山は駅からも比較的近いので、ハイキングをする人にとっては、この距離は苦ではないと思います。シャトルバスよりも、案内板の充実などに取り組んでいきます。

**【意見等】**

TPP により、消費者は安さの外国産か国産かを選ぶようになる。よりわかりやすく国産の良さを PR するため、生産量や食品情報、生産地のデータなど、数値情報を公開して農業の情報化をはかってはどうか。

**【回答】**

しっかりとしたデータに基づく販路拡大は必要と考えている。ただし、市レベルではそのようなデータをとっていない。PR するには、専門機関の調査によるデータを活用する必要があります。

#### 4 働く場所として笠間市は

**【意見等】**

工場での勤務を考えているが、企業の数（選択肢）が少ないため、市内での就職は難しい。

**【回答】**

再来年、畜産試験場跡地に工業用間接資材の通信販売会社「モノタロウ」が進出します。これにより雇用が生まれるので、就職活動の際には検討してほしいと思います。

#### 5 教育について

**【意見等】**

家庭教育や生涯学習を今後どのように進めていくのか。

**【回答】**

家庭教育は幼稚園など、早いうちから取り組んでいく必要があります。

**【意見等】**

社会のコミュニティ全体で教育に携わっていくべきと考えるが、子ども会やスポーツ少年団の支援はしているのか。

**【回答】**

近年は「付き合いが面倒」という理由で親がスポーツ少年団への加入を避けることがあります。交流・あそびの場が減っていることが課題と考えています。

## 6 自治体間交流について

**【意見等】**

姉妹都市同士での PR 活動などは行っているのか。

**【回答】**

笠間は 2 市と姉妹都市を結んでいるほか、友好都市・災害協定都市などを結んでいる。赤穂義士にかかわるサミットなどで交流はあるが、観光面での PR は少ない。自治体間の連携は続けていきたい。